

基礎分野

| | | | | |
|--------------|---|------------------------|---------|----------|
| 授業科目 | 論理学 | | 対象学年・時期 | 1年次・前期 |
| | | | 単位数 | 1 |
| | | | 時間数 | 30 |
| 講師名 | 非常勤講師 | | 担当時間数 | 29 |
| | | | テスト時間 | 1(45分) |
| 学習目標 | 1. 他者の文章・発言から伝達内容を正確に読み・聞く能力を身につける。 2. 論理の筋道を立てて考える能力を身につける。 3. 事実や自分の判断を、正確かつ明瞭に他者に伝達する能力を身につける。 | | | |
| 回数 | 主題 | 学習内容及び方法 | | 授業方法 |
| 1回 | 授業の概要・計画 | オリエンテーション、看護学校における論理学 | | 講義 |
| 2回 | 基礎理論① | 基礎①「全称・存在」、論理の筋①、演習① | | 講義・演習・報告 |
| 3回 | 基礎理論② | 基礎②「逆・裏・対偶」、接続語①、演習② | | 講義・演習・報告 |
| 4回 | 基礎理論③ | 基礎③「連言・選言」、接続語②、演習③ | | 講義・演習・報告 |
| 5回 | 基礎理論④ | 基礎④「条件法」、要点・報告、演習④ | | 講義・演習・報告 |
| 6回 | 基礎理論⑤ | 基礎⑤「推測・推論」、場に応じた対応、演習⑤ | | 講義・演習・報告 |
| 7回 | 基礎理論⑥ | 基礎⑥「必要・十分条件」、論理の筋②、演習⑥ | | 講義・演習・報告 |
| 8回 | 基礎理論⑦ | 基礎⑦「三段論法」、場に応じた対応②、演習⑦ | | 講義・演習・報告 |
| 9回 | 実践① | 原稿用紙、推敲・校正、説明のあり方、演習⑧ | | 講義・演習・報告 |
| 10回 | 実践② | 仮説形成、敬語に関する考察、要約①、演習⑨ | | 講義・演習・報告 |
| 11回 | 実践③ | 要約②、相手の立場に立つ①、演習⑩ | | 講義・演習・報告 |
| 12回 | レポート報告発表① | レポート発表①、相手の立場に立つ②、演習⑪ | | 演習・報告 |
| 13回 | レポート報告発表② | レポート発表②、相手の立場に立つ③、演習⑫ | | 演習・報告 |
| 14回 | レポート報告発表③ | レポート発表③、相手の立場に立つ④、演習⑬ | | 演習・報告 |
| 15回 (45分) | まとめ | | | |
| 評価方法 | 出席、授業への姿勢・取り組み、態度、レポート、筆記試験(45分) | | | |
| テキスト | なし | | | |
| 参考文献 | 野矢茂樹 哲学教科書シリーズ 新版 論理トレーニング(産業図書) 野矢茂樹 論理トレーニング 101問(産業図書) 野矢茂樹 入門! 論理学(中公新書) 野呂機久子他 看護系学生のための日本語表現トレーニング(三省堂) 沖森卓也他 日本語表現法 改訂版(三省堂) | | | |

| | | | |
|------|--|--------------|--------|
| 授業科目 | 情報科学 | 対象学年・時期 | 1年次・前期 |
| | | 単位数 | 1 |
| | | 時間数 | 15 |
| 講師名 | 非常勤講師 | 講義時間 | 14 |
| | | テスト時間 | 1(45分) |
| 学習目標 | 情報化社会に対応した看護活動ができるように、情報に関する特性や考え方を理解し、コンピューターの使用方法を身につける。また、コンピューターを使用した情報処理の手法を学び、看護活動を高度化するための基礎能力を身につける。 | | |
| 回 | 授業計画・内容 | 授業方法 | |
| 1回 | 1. コンピューターの基本とリテラシー 情報化による医療の変化、Word 基本操作 | 講義 PC操作実習 | |
| 2回 | 2. 情報化社会の医療とコンピューター 情報と情報処理、Word 長文作成機能 | 講義 PC操作実習 | |
| 3回 | 3. 情報の基礎知識 コンピューターの概要、Excel 基本操作、Word スタイル | 講義 PC操作実習 | |
| 4回 | 4. 情報の保護 コンピューターの仕組み、Excel 基本操作、Word 図 | 講義 PC操作実習 | |
| 5回 | 5. 情報関連法規 コンピューターネットワークとインターネット、Excel 演算 | 講義 PC操作実習 | |
| 6回 | 6. レポート作成、表計算ソフトの基本操作、演算 医療とコンピューター、Excel 計算 | 講義 PC操作実習 | |
| 7回 | 7. 表計算ソフトのデータベース操作 Excel グラフ | 講義 PC操作実習 | |
| 評価方法 | 筆記試験・課題 | | |
| テキスト | 椎橋実智男・有田彰:改訂版 看護・医療系のための情報科学入門(サイオ出版) 30 時間アカデミック 情報リテラシー office2016(実教出版) | | |
| 参考文献 | | | |

| | | | |
|------|--|---------|--------|
| 授業科目 | 人間工学 | 対象学年・時期 | 1年次・前期 |
| | | 単位数 | 1 |
| | | 時間数 | 15 |
| 講師名 | 非常勤講師 | 講義時間 | 14 |
| | | テスト時間 | 1(45分) |
| 学習目標 | 生活科学としての人間工学についての知識を習得し、日常生活や仕事や作業及び、生活環境や住環境を快適に改善するための能力を養う。 | | |
| 回 | 授業計画・内容 | 授業方法 | |
| 1回 | 1. 生活科学と人間工学について 衣・食・住と人間工学 | 講義 | |
| 2回 | 2. 人間工学の方法論について 人体計測法、生理学的測定、動作分析 心理的測定、多変量解析、色彩と生活 | 講義 | |
| 3回 | 3. 色調和と配色 生活環境と色彩、色彩の基本、色の知覚現象、温熱環境 | 講義 | |
| 4回 | 4. 住居と人間工学について エアコンの注意点、結露について、室内空気と冷房、日照と人工照明、騒音対策と室内温、住まいの空間 | 講義 | |
| 5回 | 5. 日照と人工照明 日照調整、窓配置、照度・照明器具 | 講義 | |
| 6回 | 6. 人工照明、騒音対策と室内音 VDJ 作業と視力 | 講義 | |
| 7回 | 7. 低周波騒音 住まいの安全 | 講義 | |
| 8回 | 8. 情緒工学、高齢化社会と人間工学 情緒工学の研究の流れと研究方法、SD 法、多変量解析 高齢化問題、身体的特徴、動作特徴 | 講義 | |
| 評価方法 | 試験、出欠席、授業態度、レポート課題、等の総合評価(100点満点) | | |
| テキスト | 生活科学のための人間工学(朝倉書店) | | |
| 参考文献 | 福祉住環境コーディネーター検定試験 3級・2級公式テスト(東京商工会議所) | | |

| | | | |
|------|---|---------------|--------|
| 授業科目 | 教育学 | 対象学年・時期 | 1年次・後期 |
| | | 単位数 | 1 |
| | | 時間数 | 30 |
| 講師名 | 非常勤講師 | 講義時間 | 29 |
| | | テスト時間 | 1(45分) |
| 学習目標 | 看護職を目指す者として必要な「教育の意義や内容、方法等についての基本的事項」を学習することを通して、人間形成に関する看護職としての適性や職務能力を向上させるとともに、教育の重要性に対する総合的理解を深める。 | | |
| 回 | 授業計画・内容 | 授業方法 | |
| 1回 | 授業のオリエンテーション | 講義 グループワーク | |
| 2回 | 学校教育について① 学校教育の大切さとは何か | 講義 グループワーク | |
| 3回 | 学校教育について② 学校のあり方を考える | 講義 グループワーク | |
| 4回 | 教育心理の基礎① 「わかる」ということ(認知心理学) | 講義 グループワーク | |
| 5回 | 教育心理の基礎② 「心の成長」について(発達心理学) | 講義 グループワーク | |
| 6回 | 教育心理の基礎③ 「人間関係と心理」について(人格心理学) | 講義 グループワーク | |
| 7回 | 教育社会学の基礎① 「調査分析」とその重要性 | 講義 グループワーク | |
| 8回 | 教育社会学の基礎② 社会的課題の解決に向けて | 講義 グループワーク | |
| 9回 | 社会教育学の基礎① 「家庭教育」の大切さ | 講義 グループワーク | |
| 10回 | 社会教育学の基礎② 「生涯学習」の大切さ | 講義 グループワーク | |
| 11回 | 教育思潮論 「シティズンシップ教育」とは何か | 講義 グループワーク | |
| 12回 | 特別支援教育の基礎 「一人一人にニーズ」に応える | 講義 グループワーク | |
| 13回 | グループ発表に向けて① | グループワーク | |
| 14回 | グループ発表に向けて② | グループワーク | |
| 15回 | グループ発表と授業のまとめ | グループ発表 | |
| 評価方法 | 授業への参加態度(毎時のレポート)20%、グループでのプレゼン 40%、終講試験 40% | | |
| テキスト | 講師作成資料 | | |
| 参考文献 | 随時紹介 | | |

| | | | | |
|----------|---|---|---------|--------|
| 授業科目 | 心理学 | | 対象学年・時期 | 1年次・前期 |
| | | | 単位数 | 1 |
| | | | 時間数 | 30 |
| 講師名 | 非常勤講師 | | 講義時間 | 29 |
| | | | テスト時間 | 1(45分) |
| 学習目標 | 心理学の知識を獲得するとともに、自己や他者の理解することによって、看護の現場や日常生活において役立てるようにすることを目的とする。 | | | |
| 回数 | 主題 | 学習内容及び方法 | | 授業方法 |
| 1回 | 心理学とは | 「心は何か」を学習し、講義の目的や看護職との関連を理解する。 | | 講義 |
| 2回 | 感覚・知覚 | 感覚・知覚の種類やしくみを学習し、そのはたらきや特徴を理解する | | 講義 |
| 3回 | 記憶 | 記憶のメカニズムや種類を学習し、効果的な記憶方法を理解する | | 講義 |
| 4回 | 思考・言語・知能 | 思考(問題解決・推論)や言語の特徴を学習し、その影響を理解する | | 講義 |
| 5回 | 学習 | 条件づけなど学習の理論を学習し、新しい行動が成立するしくみを理解する | | 講義 |
| 6回 | 感情 | 感情の種類やメカニズム、個人差を学習し、感情を制御する必要性、方法を理解する | | 講義 |
| 7回 | 動機づけ | 動機づけ(欲求)の種類や理論を学習し、動機づけを高める方法を理解する | | 講義 |
| 8回 | 性格 | 性格の影響要因や捉え方を学習し、自分自身の性格特徴を理解する | | 講義 |
| 9回 | 集団 | 集団やコミュニケーションの特徴を学習し、態度や行動に及ぼす影響を理解する | | 講義 |
| 10回 | 社会的認知 | 対人認知や原因帰属の特徴を学習し、その偏りやバイアスを理解する | | 講義 |
| 11回 | コミュニケーション | 人間関係への影響や説得的コミュニケーションを学習し、効果的な方法を理解する | | 講義 |
| 12回 | 発達 | 各発達段階の特徴を学習し、それに応じた効果的な態度や行動を理解する | | 講義 |
| 13回 | 心理臨床 | ストレスなど心の問題やカウンセリングの種類を学習し、解決・治療の方法を理解する | | 講義 |
| 14回 | 看護・医療と心理学 | 対人援助の特徴や患者の心理状態を学習し、効果的な対応を理解する | | 講義 |
| 15回(45分) | まとめ | | | |
| 評価方法 | 試験によって評価する(授業中の課題を加味する場合もある) | | | |
| テキスト | 系統看護学講座 基礎分野 心理学(医学書院) | | | |
| 参考文献 | 必要に応じて紹介する | | | |

| | | | | |
|------|---|--|---------|--------|
| 授業科目 | 社会学 | | 対象学年・時期 | 1年次・後期 |
| | | | 単位数 | 1 |
| | | | 時間数 | 15 |
| 講師名 | 非常勤講師 | | 講義時間 | 14 |
| | | | テスト時間 | 1(45分) |
| 学習目標 | 1. 社会的存在としての人間を理解する。 2. 家族の機能について理解する。 3. 社会の構造・機能や変化を通して、個人・家族・集団の関係を多角的に学ぶ。 4. より良い社会の形成や生活の向上を考えて看護が展開できる能力を養う。 5. 世界の様々な民族の社会・文化を学び、自らの文化を考え自己と他者の理解を深める。 | | | |
| 回数 | 主題 | 学習内容及び方法 | | 授業方法 |
| 1回 | 人間と社会 | 人間とは何か、個人と社会 人間のライフサイクルと社会的弱者 | | 講義 |
| 2回 | 家族の機能と役割(1) | 家族の歴史的発展 | | 講義 |
| 3回 | 家族の機能と役割(2) | 現代家族の諸問題 | | 講義 |
| 4回 | 地域社会 | 地域社会の歴史的発展 地域社会における保健・医療・福祉 | | 講義 |
| 5回 | 職業と職業集団(1) | 職業と社会、経営体と職業集団 | | 講義 |
| 6回 | 職業と職業集団(2) | 医療集団 | | 講義 |
| 7回 | 現代社会と現代文化 | 現代社会の形成過程 現代社会の諸変化と問題文化とは何か 世界の様々な文化と日本の文化 | | 講義 |
| 評価方法 | 定期試験と平常点を考慮して総合的に評価する。 | | | |
| テキスト | 新体系看護学全書 社会学(メジカルフレンド社) | | | |
| 参考文献 | 早坂裕子他編『社会学のつばさ』ミネルヴァ書房(2010) その他適宜授業中に紹介する。 | | | |

| 授業科目 | 倫理学 | | 対象学年・時期 | 1年次・後期 |
|------|--|--|---------|--------|
| | | | 単位数 | 2 |
| 講師名 | 非常勤講師 | | 時間数 | 30 |
| | | | 講義時間 | 29 |
| 学習目標 | 1. ものの見方、考え方の基礎知識を学び、人間としてのあり方、生き方について深く考える。 2. 物事の善悪、道徳、価値について学び、行動欲求の規範となるものへの理解を深め、相手を尊重し、倫理に基づく行動の基礎を身につける。 | | | |
| 回数 | 主題 | 学習内容及び方法 | 授業方法 | |
| 1回 | 第1部「看護者の倫理綱領」 条文1患者の人権尊重 | ・人権尊重の歴史、日本国憲法の基本的人権の尊重、新しい人権の観点を踏まえ、患者の人権尊重の意義を学ぶ。 | 講義 | |
| 2回 | 条文2平等な看護 (国籍、人権の平等) | ・労働力の国際移動に伴い、多様な国籍、人種の人々が生活している実態を学ぶ。 | 講義 | |
| 3回 | 条文2平等な看護 (国籍、人権の平等) | ・出入国管理法の改正や外国人技能実習制度の問題点などについて学ぶ。 | 講義 | |
| 4回 | 条文2平等な看護 (国籍、人権の平等) | ・国籍、人権を巡る裁判事例を通して、エスノセントリズムなどの問題を学ぶ。 | 講義 | |
| 5回 | 条文2平等な看護 (宗教における平等) | ・世界の三大宗教(キリスト教、イスラム教、仏教)に関する基本的常識を学ぶ。 | 講義 | |
| 6回 | 条文2平等な看護 (宗教における平等) | ・日本固有の神道や日本仏教、さらにイスラムのテロやカルトなどの問題点を学ぶ。 | 講義 | |
| 7回 | 条文2平等な看護(性別及び性的指向の平等) | ・セクシュアルハラスメントやLGBT、選択的夫婦別姓などについて学ぶ。 | 講義 | |
| 8回 | 条文3信頼関係 条文4知る権利と自己決定権 | ・エボラの証人輸血拒否事件などを通して、患者の自己決定権などについて学ぶ。 | 講義 | |
| 9回 | 条文5～10個人情報の保護、患者の安全確保 看護者の責任 継続学習の意義 他職種との協働 看護の基準 | ・裁判事例(HIV感染症という診断を受けた学生の臨床実習参加の可否を巡る裁判等)を通して、守秘義務の遵守と患者の個人情報の保護、保助看法の罰則規定、アドボカシー、憲法25条の生存権と社会保障制度などについて学ぶ。 | 講義 | |
| 10回 | 条文11～15看護学の発展への寄与 看護者の健康の保持増進 看護者の品行 環境問題への責任等 | ・憲法27条と労働基準法との精神、看護者の個人としての社会規範やマナーの遵守、環境問題の思想史的背景と環境倫理の三つの原理などについて学ぶ。 | 講義 | |
| 11回 | 第2部「生命倫理」 1 生殖補助技術 2 人工妊娠中絶 | ・子どもの「自分の出自を知る権利」やベビーM事件、母体保護法と出生前診断、優生思想などについて学ぶ。 | 講義 | |
| 12回 | 3 脳死と臓器移植 4 安楽死と尊厳死 | ・脳死を人の死とする臓器移植法の成立とその改正、SOLとQOL、東海大学事件などについて学ぶ。 | 講義 | |
| 13回 | 第3部「付録」 1 死囚制度 2 政治常識 | ・日本の死囚制度の問題点を存置論、廃止論双方の立場から考える。・18歳選挙権、成人年齢の18歳への引き下げ、憲法改正問題などを考える。 | 講義 | |

| | | | |
|----------------|--|-------------------------|----|
| 14 回 | 最終試験の説明とそれに向けた 問題練習 | ・過去問練習などを通して、合格点獲得を目指す。 | 講義 |
| 15 回 (45 分) | 問題の解説と質疑応答 | ・合格点獲得に万全を期す。 | 講義 |
| 評価方法 | 筆記試験 | | |
| テキスト | なし | | |
| 参考文献 | よくわかる看護師の倫理綱領(編著:東京医科大学看護専門学校 照林社) はじめて学ぶ生命倫理(小林亜津子 ちくまプリマー新書) 14 歳からわかる生命倫理(雨宮処凛(かりん)河出書房新社) 看護のための法学[第 3 版](野崎和義・柳井圭子 ミネルヴァ書房) 異議あり! 生命・環境倫理学(岡本裕一郎 ナカニシヤ出版) | | |

| | | | |
|---|--|---|--------|
| 授業科目 | 人間関係論 | 対象学年・時期 | 1年次・前期 |
| | | 単位数 | 2 |
| | | 時間数 | 30 |
| 講師名 | 非常勤講師 | 講義時間 | 29 |
| | | テスト時間 | 1(45分) |
| 学習目標 | 人間関係の確立の基礎として、カウンセリングの基本的な知識と技術を修得することにより、自己の理解を基礎に、患者の考えや基本を十分理解し、心理的な援助ができるよう実践的体験的な学習を行う。 | | |
| 回 | 授業計画・内容 | 授業方法 | |
| 1回 | 第1章 人間関係基礎論、人間関係の中の自己と他者 | 講義、アンケート・エンカウンター | |
| 2回 | 第2章 対人関係と役割 | 講義演習、エゴグラム | |
| 3回 | 第3章 態度と対人行動 | 講義演習、DVD53 コミュニケーションの基本、コミュニケーションカー一方通行と相互通行のコミ | |
| 4回 | 第4章 集団と個人 | 講義演習、DVD54 コミュニスキルⅠ、価値討論(チームで) | |
| 5回 | 第5章 コミュニケーション | 講義演習、DVD55 効果的なコミュニケーション、オープンクエスチョン、クローズドクエスチョン | |
| 6回 | 体験学習Ⅰ ワールドカフェ(ヘルスカフェ) | 講義演習、ワールドカフェ、対話 | |
| 7回 | 第6章 カウンセリングと心理療法 | 講義演習、ケアに活かすコミュニケーション | |
| 8回 | 第7章 コーチング | 講義演習、コーチングリフレ DVD56 | |
| 9回 | 第8章 アサーティブ-コミュニケーション | 講義演習、アサーションチェック | |
| 10回 | 第9章 保健医療チームの人間関係 | 講義演習、感情の言葉探し、伝言ゲーム | |
| 11回 | 第10章 患者を支える人間関係 A・B | 講義演習、病院実習行動目標、ロールプレイ | |
| 12回 | 第10章 患者を支える人間関係 C①②③④ | 講義演習、夫婦関係の心理、プロセスレコード | |
| 13回 | 第11章 家族を含めた人間関係 | 講義演習、ロールプレイング | |
| 14回 | 第12章 地域をつくる人間関係 | 講義演習、ピア・サポート実習 | |
| 15回(45分) | まとめ | | |
| <p>カウンセリングの基本的理論および技法を学習する。体験学習の過程で、ピア・サポート、構成的グループエンカウンター(リレーションづくり)、サイコドラマ、ワールドカフェ等を通じて、人間理解とカウンセリング関係について、実践的な態度の養成を図る。ロールプレイ(カウンセリング場面)では、逐語記録の検討と自己評価用紙により実習の深まりを評価検討する。</p> | | | |
| 評価方法 | レポート、感想文、出席および授業参加態度(演習態度等)、筆記試験 | | |
| テキスト | 系統看護学講座 基礎分野 人間関係論(医学書院) | | |
| 参考文献 | 國分康孝:カウンセリングの理論・技法(誠信書房) 福嶋修美:カウンセリング演習(金子書房) 高村寿子:ピアカウンセリングマニュアル(小学館) 津村俊充:人間関係トレーニング(ナカニシヤ出版) | | |

| | | | |
|------|--|---|--------|
| 授業科目 | 英語 I | 対象学年・時期 | 1年次・前期 |
| | | 単位数 | 1 |
| | | 時間数 | 15 |
| 講師名 | 非常勤講師 | 講義時間 | 14 |
| | | テスト時間 | 1(45分) |
| 学習目標 | 高校等で、これまでに習得した英語力をもとに ①英語で行う患者との会話 ②英語の看護・医療用語 を学習し、国際化社会で必要とされる「英語でコミュニケーションできるナース」になることを目指す。 | | |
| 回 | 授業計画・内容 | 授業方法 | |
| 1回 | イントロダクション：授業紹介・シラバス説明・自己紹介 | ・座学 ・毎回 CD プレイヤー使用 ・1回授業で1Unit 実施 ・Unit 終了後 Appendix 2 (医療の現場で役立つ重要表現)、または資料プリントを学習 *授業には必ず英和辞書を持参すること | |
| 2回 | Unit 1 First Visit 初診&問診表 | | |
| 3回 | Unit 2 At the Examination Room 診察室での基本会話&ノロウイルス | | |
| 4回 | Unit 3 Flu Symptoms インフルエンザの症状&タミフル | | |
| 5回 | Unit 4 Pain Problems 痛みへの対処&BSE (狂牛病) | | |
| 6回 | Unit 5 Stomachache 胃痛&摂食障害 | | |
| 7回 | Unit 6 Abdominal Pain 腹痛&ホルモン攪乱物質 | | |
| 評価方法 | テキストや授業で学習した内容に関する筆記試験を中心に出席状況・授業に取組み姿勢を考慮して100点満点で評価 | | |
| テキスト | Medical English Clinic やさしい医療英語(センゲージラーニング株式会社) | | |
| 参考文献 | 医学英語(考古堂書店) 看護系学生のための総合英語(南雲堂) 看護英会話入門(医学書院) 大学入試センター試験過去問題 | | |

| | | | |
|------|--|---|--------|
| 授業科目 | 英語Ⅱ | 対象学年・時期 | 1年次・後期 |
| | | 単位数 | 1 |
| | | 時間数 | 15 |
| 講師名 | 非常勤講師 | 講義時間 | 14 |
| | | テスト時間 | 1(45分) |
| 学習目標 | 高校等で、これまでに習得した英語力をもとに ①英語で行う患者との会話 ②英語の看護・医療用語 を学習し、国際化社会で必要とされる「英語でコミュニケーションできるナース」になることを目指す。 | | |
| 回 | 授業計画・内容 | 授業方法 | |
| 1回 | Unit 7 Urinalysis 尿検査&市販薬 | ・座学 ・毎回 CD プレイヤー使用 ・1回授業で1Unit 実施 ・Unit 終了後 Appendix 2 (医療の現場で役立つ重要表現)、または資料プリントを学習 *授業には必ず英和辞書を持参すること | |
| 2回 | Unit 8 Cholesterol コレステロール&メタボリック症候群 | | |
| 3回 | Unit 9 Anemia 貧血&バランスのとれた食事 | | |
| 4回 | Unit 10 Injury 怪我&ウォーキングの効能 | | |
| 5回 | Unit 11 Operation Period 手術の準備&入院手順 | | |
| 6回 | Unit 12 Alcohol Poisoning アルコール中毒 | | |
| 7回 | Unit 13 Ultrasound Examination 超音波検査 | | |
| 評価方法 | テキストや授業で学習した内容に関する筆記試験を中心に出席状況・授業に取組み姿勢を考慮して100点満点で評価 | | |
| テキスト | Medical English Clinic やさしい医療英語(センゲージラーニング株式会社) | | |
| 参考文献 | 医学英語(考古堂書店) 看護系学生のための総合英語(南雲堂) 看護英会話入門(医学書院) 実践的看護英語の基礎(ピアソン・エデュケーション) | | |

| | | | |
|------|---|---------|--------|
| 授業科目 | 保健体育 | 対象学年・時期 | 1年次・前期 |
| | | 単位数 | 1 |
| | | 時間数 | 30 |
| 講師名 | 非常勤講師 | 講義時間 | 30 |
| | | テスト時間 | 課題評価 |
| 学習目標 | 1. スポーツのもつ健康への意義を実践を交えながら学ぶ。 2. 健康な生活を送る上で必要な身体運動のメカニズムについて理解を深める。 3. 運動習慣を身につける。 | | |
| 回 | 授業計画・内容 | 授業方法 | |
| 1回 | 1. オリエンテーション・体ほぐし運動 | 実技 | |
| 2回 | 2. 体力測定① | 実技 | |
| 3回 | 3. 体力測定② | 実技 | |
| 4回 | 4. ウォーキング&ジョギング | 実技 | |
| 5回 | 5. バレーボール① | 実技 | |
| 6回 | 6. バレーボール② | 実技 | |
| 7回 | 7. バレーボール③ | 実技 | |
| 8回 | 8. バスケットボール① | 実技 | |
| 9回 | 9. バスケットボール② | 実技 | |
| 10回 | 10. 卓球 or バドミントン① | 実技 | |
| 11回 | 11. 卓球 or バドミントン② | 実技 | |
| 12回 | 12. ソフトバレーボール① | 実技 | |
| 13回 | 13. ソフトバレーボール② | 実技 | |
| 14回 | 14. スポーツの意義 | 講義 | |
| 15回 | まとめ | | |
| 評価方法 | レポート 出席及び授業参加態度 | | |
| テキスト | | | |
| 参考文献 | | | |